

西日本旅客鉄道株式会社

理事 米子支社長

米子支社山陰地域振興本部長 佐伯祥一 様

J R西日本米子支社のダイヤ改正に係る要望

令和3年8月

鳥取県知事

平井伸治

鳥取県市長会会長

深澤義彦 (鳥取市長)

鳥取県町村会会長

宮脇正道 (湯梨浜町長)

地方ローカル線の多くは、地域における貴重な移動手段であり、今般、西日本旅客鉄道株式会社が公表した今秋のダイヤ改正、及び来春に予定されるダイヤ改正は、利用者の利便性を大きく低下させ、さらなる鉄道の利用者離れの要因となるものと想定され、通学・通勤・通院など住民の生活を困難にし、地域そのものの衰退を加速することが強く危惧される。

については、地方ローカル線のダイヤの維持・存続を図るよう次のとおり強く要望する。

- 1 JR各社の担う全国的・広域的な鉄道ネットワークは、国鉄分割・民営化の過程において、収益調整措置や様々な国民負担による支援措置などが講じられ、各社において堅持することと整理されたものであることに鑑み、ダイヤ改正は、より慎重に考えること。
- 2 今秋及び令和4年春のダイヤ改正では、減便以外の経営改善策についても十分検討し、それでも敢えて減便を行う場合は、利用状況だけではなく、乗換接続や運転間隔を考慮の上、最小限のものとするなど、利用者の利便性に配慮すること。
- 3 やむを得ず減便する場合であっても、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う暫定的な措置とし、コロナ収束後、速やかにダイヤを復活すること。
- 4 地域の生活基盤を守るため、さらに地元自治体や他の交通事業者等と連携協力し、地域のまちづくりと連動した地域交通の維持や利便性の向上に取り組むこと。